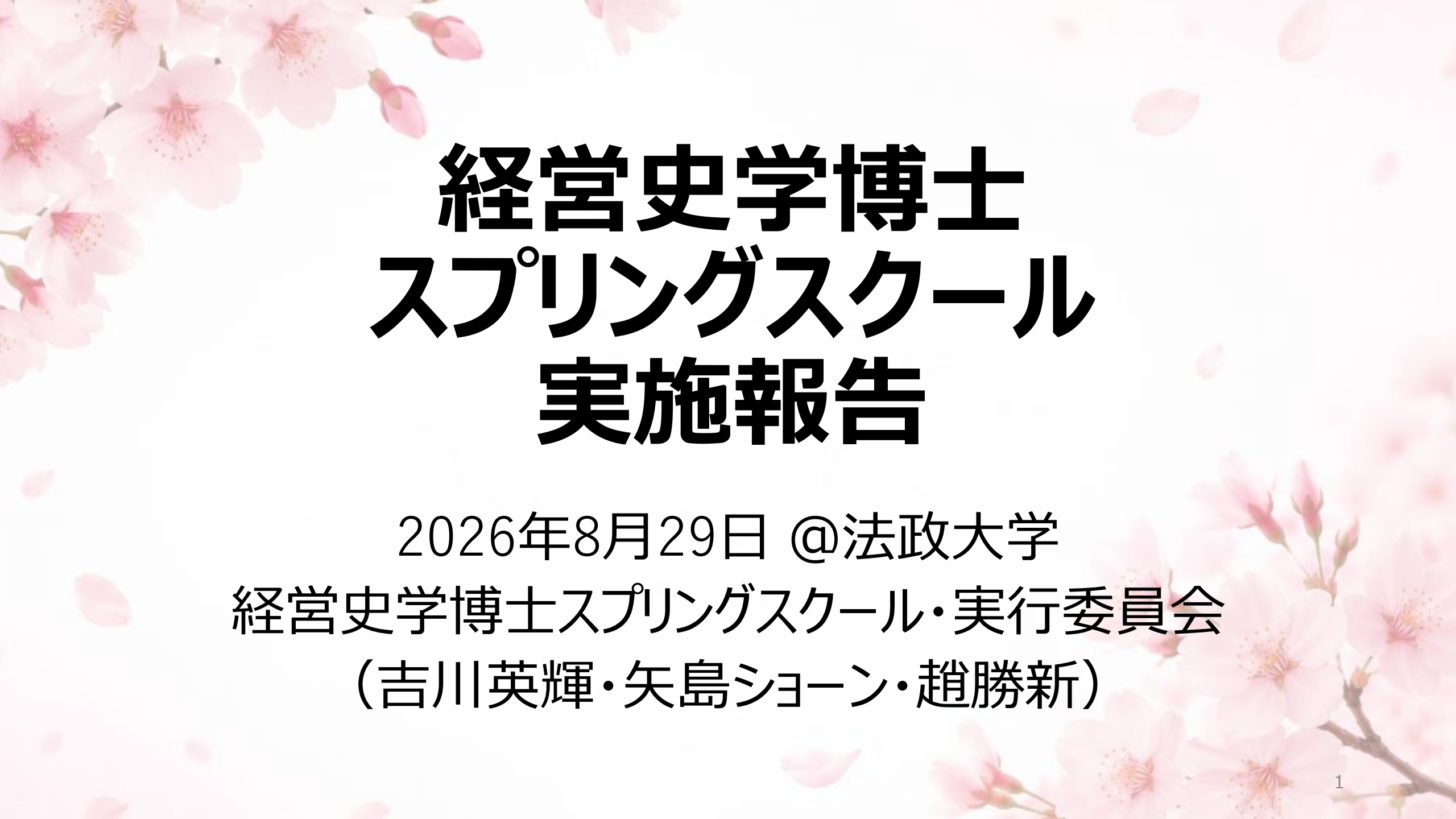




経営史学博士 スプリングスクール 実施報告

2026年8月29日 @法政大学
経営史学博士スプリングスクール・実行委員会
(吉川英輝・矢島ショーン・趙勝新)

経営史学博士スプリングスクールとは

- 目的

学生間・招聘講師との長期的な研究ネットワークの構築

- 概要：

- 日本の大学院に在籍する博士課程学生を対象に「経営史学の継承と未来」をテーマとして実施

- 2泊3日の合宿形式 / 研究発表および討論 / 講義

- 対象

- 経営史, 経済史, 経営学, 経済学などの隣接分野を含む多様な研究領域を想定

開催概要

- 日時：2026年3月17日～19日
- 開催地：同志社大学・今出川キャンパス（京都）
- 実施形式：対面（合宿形式，2泊3日）

プログラム (1日目)

■2026年3月17日(火)

11:00-12:00	ウェルカム・レセプション(参加自由) [予定]
12:00-13:00	昼食
13:00-13:15	開会式
13:15-14:05	「近代大坂の女性労働 —『商工資産信用録』にみる女性商工業者の統計的観察—」 ・報告者: 名川 拓男 ・コメンテーター: 犬飼 菜帆
14:10-15:00	「高度成長期後半の石油化学工業における行政指導: 原料問題と事後的・弾力的な調整」 ・報告者: 細井 拓真 ・コメンテーター: 谷口 創一
15:00-15:30	コーヒー・ブレイク
15:30-16:20	「デジタル・イクイップメント社におけるカオス・マネジメントの形成—1960年代から1970年代までの組織形成に着目して—」 ・報告者: 畠山 裕士郎 ・コメンテーター: 田邊 潤一郎
16:25-17:10	高槻先生のご講評
18:00-	スプリングスクール・ディナー @ イタリアン鉄板パール 鳥丸DUE (📍 Karasuma DUE)



プログラム (2日目)



■2026年3月18日(水)

09:10-10:00	「明治期万国博覧会参加における民間出品者の組織化 —委託出品問題への対応—」 ・報告者:王 潔琳 ・コメンテーター:藤田 葵
10:00-10:30	コーヒー・ブレイク
10:30-12:00	久野先生のご講演 「越境する研究と実践—境界領域としてのビジネスヒストリー—」
12:00-14:00	昼食 (+ 御苑散歩)
14:00-14:50	「ドイツ原子力産業史研究を巡る論点提起」 ・報告者:谷口 創一 ・コメンテーター:畠山 裕士郎
14:55-15:45	「大手海運企業における機帆船海運業の参入・撤退要因 —戦時標準型機帆船に着目して—」 ・報告者:由富 康平 ・コメンテーター:王 潔琳
15:45-16:15	コーヒー・ブレイク
16:15-17:45	谷本先生のご講演 「『在来産業』論から『複層的発展』論へ」
18:30-	懇親会 @ サケホール 益や (📍 Sake Hall Masuya)

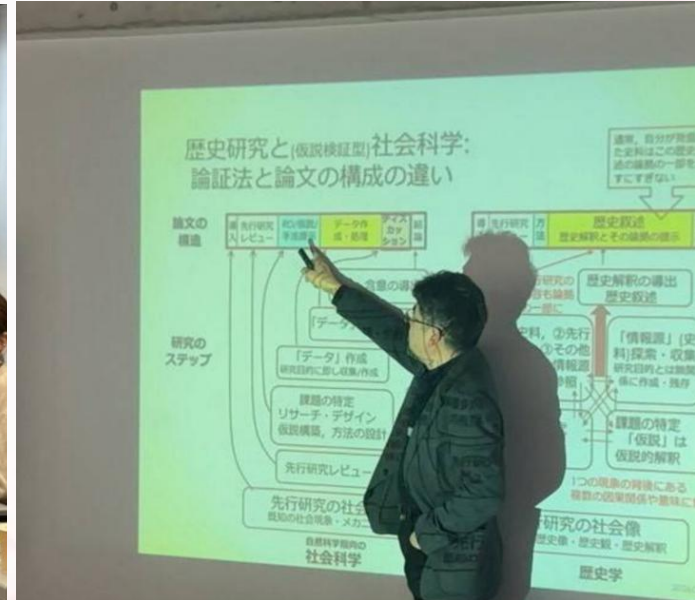
プログラム (3日目)



■ 2026年3月19日(水)

09:00-09:50	「存続か統合か —19/20世紀転換期ロンドンにおける篤志病院の選別危機」 報告者: 犬飼 菜帆 コメンテーター: 由富 康平
09:50-10:20	コーヒー・ブレイク
10:20-11:50	黒澤先生のご講演 「Business Historyと経営史: 史学史から考えるその存在論・認識論・方法論」
11:50-13:20	昼食
13:20-14:10	「2000年代のスマートフォンOS市場におけるシンビアンの衰退 —先行者と後発者の代替と棲み分けを決める既存評価軸—」 ・報告者: 田邊 潤一郎 ・コメンテーター: 細井 拓真
14:15-15:05	「第一次企業勃興期に至る北海道における会社による農業経営 ～赤心社と晩成社の比較分析～」 ・報告者: 藤田 葵 ・コメンテーター: 名川 拓男
15:10-15:25	閉会式
15:45	完全撤収

研究会中の様子



参加者と報告内容

・全国各地から9名の参加者、コメンテーター制度の導入

名前	大学	報告内容	コメンテーター
名川 拓男	大阪大学	近代大坂の女性労働 —『商工資産信用録』にみる女性商工業者の統計的観察—	犬飼 菜帆
細井 拓真	東北大学	高度成長期後半の石油化学工業における行政指導： 原料問題と事後的・弾力的な調整	谷口 創一
畠山 裕士郎	明治大学	デジタル・イクイップメント社におけるカオス・マネジメントの形成 —1960年代から1970年代までの組織形成に着目して—	田邊 潤一郎
王 潔琳	東京大学	明治期万国博覧会参加における民間出品者の組織化 —委託出品問題への対応—	藤田 葵
谷口 創一	京都大学	ドイツ原子力産業史研究を巡る論点提起	畠山 裕士郎
由富 康平	東洋大学	大手海運企業における機帆船海運業の参入・撤退要因 —戦時標準型機帆船に着目して—	王 潔琳
犬飼 菜帆	一橋大学	存続か統合か —19/20世紀転換期ロンドンにおける篤志病院の選別危機	由富 康平
田邊 潤一郎	慶應義塾大学	2000年代のスマートフォンOS市場におけるシンビアンの衰退 —先行者と後発者の代替と	細井 拓真
藤田 葵	京都大学	第一次企業勃興期に至る北海道における会社による農業経営 ～赤心社と晩成社の比較分析～	名川 拓男

招聘講師と講義概要

・研究経験の継承

名前	大学	報告内容
久野 愛	東京大学大学院情報学環 ・学際情報学部 准教授	越境する研究と実践 —境界領域としてのビジネスヒストリー—
谷本 雅之	大妻女子大学社会情報学部 教授	『在来産業』論から『複層的発展』論へ
高槻 泰郎	神戸大学経済経営研究所 准教授	講評
黒澤 隆文	京都大学大学院経済学研究科 教授	Business Historyと経営史： 史学史から考えるその存在論・認識論・方法論



学術的ネットワークの形成

- 四六時中同じ空間にいるから生まれる偶発的な議論
 - コーヒーブレイク
 - 朝食・昼食・夕食
 - エクスカーション

インフォーマルな交流



実施評価

■ 闊達なディスカッションの達成

- 約20頁のフルペーパー提出 / 参加学生全員が事前精読
- 各報告に個別のコメンテーターを配置
- 講師からの事前課題、関連文献の読了
 - 研究の向上・議論の深化

■ 学術的ネットワーク

- 非公式な交流機会を設定
 - 参加者間のネットワーク形成
 - 学生間のみならず、教員と学生間のコミュニケーション機会

参加者の評価

・研究面

- ・他分野の論文を事前に読み込むことができたため、質疑のセッションや懇親会では活発な議論や交流ができた。
- ・先生方の講義内容が**研究の変遷から研究に向かう姿勢**、さらに**史学史やプラクティカル**なところまでさまざまな立ち位置からお話を聞いた。
- ・参加者・講師の先生方から、経営史学という共通の視点は意識しながらも、**多角的な視点でコメントをいただけた**ことは、自身の研究を見直すうえで大変有意義でした。
- ・自分の研究の意義をどのように説明すれば伝わるかについて、色々と考え直しました。博論と今後のキャリアについて色々と悩んでいる時期に、このような企画に参加でき良かった。

参加者の評価

• 交流

- **経済史・経営史領域での横のつながりがなく、基本的にはキャリアの近い方々との交流がなかったが、他大学の方々との交流を通じて、研究の進め方や研究者としての生き方を考えるきっかけとなった。**
- **本企画の大きな魅力は、諸企画を通じて、大学院生だけでなく、先生方との交流を図ることができた点…。普段の学会では先生方同士のコミュニケーションに割って入ることが困難だが、先生方と研究内容に関するアドバイスや素朴な疑問を深めることができた。**
- **教室でのオフィシャルな交流以外にも、京都御所の散策やホテルでの交流、空き時間での大学周辺の散策など、充実の3日間だった。**

今後の課題と展望

- 参加した学生および教員から非常に高い評価
- 博士研究の論点を網羅的に提示するというよりも、今後の研究活動のきっかけを提供できた
- 他方で、**安定的な資金獲得**に課題を残した